

2023年度

事業報告書

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

1 事業の成果

アジアキリスト教教育基金（ACEF）は、バングラデシュにおいて貧困地区の児童、生徒への教育活動を実践している NGO、Basic Development Partners（BDP）を日本から支援することを介してバングラデシュ貧困地区の教育支援、地域支援を行い、同時に日本の若者との交流機会を設ける活動を行っております。

【初等教育】BDP の厳しい財政状態を理由に、2023 年末に 12 の BDP 小学校が閉校しました。2024 年 3 月時点では 6 地区 30 校で 2,909 名の子どもたちと 123 名の教師に対して初等教育の支援を行っております。（2023 年 12 月末の 12 校閉校前は、42 校 3,546 名の子どもたちと教師 154 名を支援。）そうした状況の中でも教育の質向上のために進めている教育環境の整備活動として校舎の改修を 2 校（プーバイル地区 1 校、ジャマルプール地区 1 校）で実施し、また図書室の設置も進め、その設置校は 6 校（各地区に 1 校ずつ）となりました。

【職業訓練】ジャマルプール地区の職業訓練校が 2023 年度に閉校となり、2024 年 3 月時点ではミルプール、プーバイルの 2 地区でコンピューター、縫製（ミルプール）、電気（プーバイル）の各コースを開講し、計 135 名に対して技術指導を行っております。

【マイクロファイナンス】継続した教育（初等教育の修了、中等・高等教育への進学）を目指し、まずは家計の維持・向上を目的に、子どもたちの母親を対象にしたマイクロファイナンス事業を継続実施しております。BDP 小学校の閉鎖に伴い対象人数は減少しましたが、2024 年 3 月時点で 1,453 名がこの融資を受け、また貯金活動を行っております。

【日本の若者への教育支援】2023 年度のスタディツアーへは、高校生 8 名、大学生 6 名、社会人 1 名の計 15 名の参加がありました。前年度同様、外務省主催のグローバルフェスタ・ジャパンにオンライン参加し、ツアーの成果について報告を行いました。

【国際理解促進】サービスラーニングや出張講義を通じて、幼稚園から大学まで幅広く ACEF と BDP の事業、そしてバングラデシュについて紹介し、現状を知ってもらうことができました。特に 3 月には、BDP のヘモント事務局長とピーター副理事長が来日し、限られた時間ではありましたが、できるだけ多くのサポーターと話をし、相互の理解促進が図られました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【28,352】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者(人)	受益対象者範囲	受益対象者(人)	事業費(千円)
アジアの開発途上国への教育支援事業	初等教育支援 (含中学進学支援)	通年	6 地区	150	小学校 30 校の 在籍者	約 2,900	18,052
	職業訓練校支援	通年	2 地区	10	職業訓練生	135	2,000
	図書室の設置、読書普及	通年	6 地区	20	設置校生徒と 地域住民	800	200
	マイクロファイナンス支援	通年	6 地区	60	マイクロファイナンス・グループメンバー	1,450	1,000
国際協力への理解、参加を促進するための事業	スタディツアー 国際協力理解についてのセミナー、 報告会など開催 学校等へ講師派遣	通年	バンラデ シュ 東京及び オンライン	70	ツアー参加者 国内一般市民 セミナー・勉強 会参加者	200	6,000
アジアの開発途上国に関する普及、啓発事業	メールニュース、 SNS 情報発信等	通年	オンライン	10	会員・寄附者一 般市民	3,000人 以上	500
	バンラデシュ手 工芸品の紹介提供	通年	日本各地	10	国内一般市民 バザー参加者	-	600

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
なし					